

学習課題(小学校6年生)



【国語】

〈学習内容〉

◆「伝えられてきた文化」（教科書 158～159 ページ）に取り組みます。

- (1) 教科書 158～159 ページの文章を読み、「狂言・能・歌舞伎・人形浄瑠璃（文楽）」の特徴について、ノートや取組シートにまとめましょう。
- (2) それぞれの芸能について、知りたくなったことや見てみたいと思った物について、社会の教科書（歴史編）やパソコンなどを活用し調べ、ノートや取組シートにまとめましょう。

・何時代に始まったのかな？平安？室町？
 ・「茶道」の「千利休」みたいに有名な人物はいるのかな？



◆「カンジ博士の漢字学習の秘伝」（教科書 160～161 ページ）に取り組みます。

- (1) 教科書 160～161 ページを読み、学習の進め方を確認しましょう。「秘伝その一からその三」までに着目し、それぞれの秘伝を意識しながら、教科書に書いている例文をノートや取組シートに書きましょう。

- ・秘伝その一 演奏がじょうたつする。 ⇒ (?)
- ・秘伝その二 郵便局が遠くて便りを出すのが不便だ。 ⇒ (?)
- ・秘伝その三 生産の拡大をこころみる。 ⇒ (?)

秘伝を使って漢字を書くと、どんなよさがあるかな？



- (2) 「究極の秘伝」を確かめ、161 ページの問題 ①～③ に取り組み、ノートや取組シートに書きましょう。

◆「漢字の広場 4」（教科書 162 ページ）に取り組みます。

- (1) 教科書 162 ページの絵を見て、「テレビ局で見学したこと」について、「家の人に分かりやすく伝える文章」を書きます。その前に、教科書に出てくる言葉について、意味が分からない場合は、辞典などで意味を調べましょう。
- (2) 教科書の言葉を使い、例文を参考に、絵に合った文章をノートや取組シートに書きましょう。（5年生までに習った漢字を、意味を考えながら正しく使えるとよいですね。）

右の例は、上下でどこが違うかな？この例のように、絵を見ていない人に、「わかりやすく」伝える文章にしよう！

スタジオでは、**国際情勢**をテーマにした番組をさつえいした。



第一スタジオでは、**貿易**に関する**国際情勢**をテーマにした番組をさつえいしていました。



◆「狂言 柿山伏」（教科書 163～173 ページ）と、「『柿山伏』について」（教科書 174～175 ページ）に取り組みます。

- (1) 教科書 163～173 ページの「狂言 柿山伏」の文章を読み、狂言の特色に着目して、自分が面白いと感じたところを書き出して、その理由もノートや取組シートに書きましょう。
- (2) 教科書 174～175 ページの「『柿山伏』について」を読みましょう。文章を読んで、昔の人のものの見方や感じ方を知り、狂言の楽しみ方を広げましょう。
- (3) **このお話は、「音読」することで、よりお話の世界を身近に感じたり楽しんだりすることができます。**音読に向けて、登場人物である「山伏」と「柿主」の人物像について考えましょう。それぞれがどんな人物なのか、教科書の文とそこから分かる人物像を合わせて、ノートや取組シートにまとめましょう。
- (4) 場面を 3 つ（①165 ページ～166 ページ下段 9 行目、②166 ページ下段 10 行目～170 ページ 4 行目、③170 ページ 5 行目～173 ページ）に分け、自分が面白いと思う場面について、表現の工夫を考えて、音読しましょう。



「こかあ、こかあ、こかあ…」の山伏は、気付かれていないと思っているけど、実は、神主にばれているところが面白いから…

柿主と山伏の掛け合いのところが面白そう！どうやって読もうかな

- (5) 音読を終えて、狂言や昔の人のものの見方・感じ方について考えたことを、ノートや取組シートに書きましょう。

	特に気をつけたいせりふ	演じる役 山伏・柿主
	どのような工夫をするか	演じる場面 ①・②・③

◆「カンジ博士の漢字学習の秘伝」「狂言 柿山伏」で学習する予定の**新出漢字**（「奏」～「退」）を練習します。（読み方や書き順などは 303～304 ページに載っています。）

＜保護者による関わり方のポイント＞

- ・教科書 P159 に掲載されている QR コードから、さまざまな古典芸能の資料（外部サイト）を見ることができます。また、文部科学省「子供の学び応援コンテンツリンク集」に掲載されている NHK for school サイトで「狂言」「歌舞伎」で検索すると関連する動画を視聴することができます。「伝えられてきた文化」や「狂言 柿山伏」の学習で御活用ください。